

発達支援の人材育成と質の向上のために



児童発達支援事業者や各発達支援の団体より「ことば音楽療法」による団体セッションや個人セッション、発達支援に関しての社員教育、企画・イベントでの講演を依頼される機会が少しずつ増えて参りました。

皆さまのご要望に応えるために講師の紹介を平成28年8月より開始致します。

- 派遣地域：全国 ● 派遣料金：～50,000円
- 時間：～90分迄の基本料金
- 依頼団体：放課後等ディサービス、児童発達支援事業者、保育園、子ども園、幼稚園、親御さんの会、特別支援学校、特別支援学校など

※趣旨や目的、聴講対象者など決まった範囲で構いませんので、お気軽にお問い合わせください。

本部：(052) 505-5255

メール：takada@aroma-nagoya.com 迄

● 講師募集 ●

発達支援協会は主に「ことばの療育」を通じて発達支援に携わってきました。発達への支援は「ことば」にかぎらず多種多様です。

広く発達支援に携わっている講師・指導者（経験者）を募集（登録）しています。

*登録は無料



INDEX

- 発達支援の人材育成と質の向上のために 1 ページ
- ごあいさつ／堀田喜久男 ● ことば療法学会（大阪）の報告 2 ページ
- 「つながり」／横浜支部長 高橋亮太郎 3 ページ
- 「子どもたちと共に」／阿部裕美 ● 商品紹介 4 ページ
- 「日常に生きることば音楽療法」／小笠原清恵 5 ページ
- 行橋支部活動報告
「九州で広がりつつあることば音楽療法」／石井純子 6 ページ
- <コラム9> 穴戸理恵 ● セミナー情報 7 ページ
- 認定校・認定教室 8 ページ

ごあいさつ

堀田 喜久男



5月28日・29日に第4回「日本ことば療法学会」が大阪市で全国から多くの実践者や研究者の参加を得て開催されました。1日目は3講座があり、50名程の参加者のもと実践のための基礎知識や技法研修を行いました。終了後には交流会もあり楽しい話し合いも致しました。2日目は「ことばがけで笑顔の連鎖」と題して母紀久代先生の基調講演・「音楽作りにおけることばの役割」と題した小林紳一先生のビデオ演奏の発表を通しての解説・「活動の場～職として」と題して赤崎倫夫・増田左知子・高橋亮太郎・堀田喜久男の4氏によるシンポジウム・3題の実践研究発表（田中・取違・水尻・上野の4名）がありました。

年を追うごとに「ことばの療法」が拡がり、これを希望する方も多くなりました。これに応えるためにもことば療法士の量的・質的の向上が求められています。

第5回「日本ことば療法学会」は6月上旬に九州（福岡）にて開催予定です。

■ 第4回 ことば療法学会（大阪）の報告 ■

平成28年5月28日（土）・29日（日）

会場：大阪社会福祉指導センター

参加者：1日目：45名 2日目：54名

『テーマ：活躍の場～職の構築』

「日本ことば療法学会」も第4回を迎え、受講される方も少しずつ増えてまいりました。

研究発表の内容もより充実されてきたように感じます。これも発達支援に携わっている方々の熱意と努力の賜物と思います。まったなしの状況下で日々の皆様の挑戦を頼もしく思います。悩みを持ち参加されていますので、休憩時間では各所にて意見を交換される姿が多くみられました。今後も学会に参加され、多くの知識やヒント・アイデアを吸収されて日々の療育にお役立て下さい。第5回の学会（福岡）にてお会いできる日を楽しみにしています。 事務局：高田





「つながり」

横浜支部長 高橋 亮太郎

唐突ですが、皆さんは自分の家系図を見たことはありますか？存在すら知らないという方は1度ご自身で作ってみてはいかがでしょうか。自分のルーツをさかのぼってみるのも悪くありません。もしご先祖の氏名がわからなくても、1人につき必ず実父母2人が上にあるのでアタマ数だけは誰でも共通です。この数が凄いのです。

親は2の1乗で2名、親の親つまり祖父母は2の2乗で4名。非常におおざっぱな話で恐縮ですが、百年で4代とすれば、2百年で8代。今から2世紀前の19世紀始めの先祖は2の8乗=256人！とても紙には書ききれませんね。さらにその2百年前にはその256人それぞれに256人ですから、江戸時代初頭のご先祖は $256 \times 256 = 6万5千人超$ … 有史以前にさかのぼれば、誰もが無数のご先祖のお陰でいまこの世に存在することができた、ということです。

ここで1つ、怖いことを考えてみましょう。この無数の直系先祖のうち誰か1人でも病気や事故・大地震や津波などの天災・飢饉や国内外の戦争などによって、子孫を残す前に没していたらどうなるでしょう。そこから下のお歴々は生まれ得ず、最後は両親の片方が消えて、自分も生まれなかったことになります。

ここまでくると、昔のご先祖さまに向って「立派だったかどうかはわからないけど、何はともあれありがとうございます」とお礼を言いたくなりませんか。どんな人でも実の親は2人。生まれてなんとか成長して配偶者と出会い次の世代をもうけて懸命に育て…この営みの延長が自分に至るとなると、無数の先祖の遺伝子の集積とも言える自分の生の重みにある種の責任感を感じます。それだけでなく、自分の人生にしかない意味や目的や使命のようなものがあるからこそ生まれてきたようにも思います。ご先祖の1人でも欠けていたら、いまここには全然違う人物がいるのですから。そう思うと、ルックスやアタマに不満はあっても(笑)、先祖から受け継いだ自分のこの資質でなんとか勝負してやろうじゃないかという気になります。

私たちのセッションを受けるクライアントたちも、ちょっと人よりハンディを背負っているかもしれませんが、多少の支援を必要とするだけで同じ時代に生まれ同じ国土を踏む仲間です。支援する・される立場の違いこそあれ、ことば音楽療法を介して「いま、この場所で」関われるのも、お互いを必要とする何かご縁があつてのことだろうと思います。一説によれば、千年単位で歴史を俯瞰すると、東アジア人同士はみな遠い親戚のようなものだそうです。まあ昔は大陸とつながっていたそうなので当然といえばそれまでですが。となると、うかつに近隣諸国をさげすむと自分の出自を嘲ることになってしまいますね。

ことば療学会の会員同士も決して小さくはない縁を持って集った友です。お互いの出会いに感謝しつつさまざまなノウハウを共有して、ことばに難を持つ児童の将来を少しでも良いものにできるよう、一緒に頑張っていきましょう。

子どもたちと共に

NPO法人 プレママクラブ
放課後等ディサービス ドーナッツMaMa
阿部 裕美

私が「ことば音楽療法」に出会ったのは、知人に誘われて参加したセミナーでした。その時「私が関わっている特性の強い子どもたちに活かす事は難しいのかな？」というのが正直な感想でした。機能的問題なのか？興味、関心の問題なのか？と特性も多岐にわたり、その道の専門でもない私にそれを見極める事はできません。でも、折角なので見よう見まねで個別セッションもどきを始めました。

「やめて」だけはハッキリと言えるその当時、特別支援学校の中学年の子に、手作り絵カード・五十音カードを用いて音遊びと称して活動に取り入れました。目に見える成果を短期間で得られるとは思っていませんでしたし、私自身が半信半疑での始まりでしたが、半年、1年と経った頃「発語が増えましたね」というスタッフの言葉に、今までに様々な経験も増え、ゆっくりなりとも成長しているから・・・とセッションもどきの成果だと言える確信を持たずにいました。さらに親御さんより、「あんまり期待していない」という辛い言葉も追い打ちとなり、私を奮立たせるきっかけとなり「しっかりと勉強し、根拠を持って活動し確信を持って成果に繋げよう」と思いました。

人間社会は言語社会、発語が出来るにこしたことはないのですが、私の中には「意志を伝える方法は、それだけではない」という思いもあります。特性に合った方法を試行錯誤しながら、取り組んでいこうと思っています。そして、子どもたちのため、楽しさの中から出来る事が増えていけるよう、子どもと共に頑張ろうと思います。

商品紹介

● 書籍

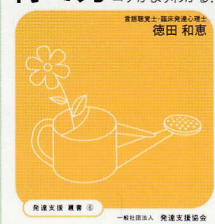
「はなしことばの育て方」
徳田 和恵

ページ数：133p

発達支援 叢書（シリーズ）⑥
料金1,404円（税込）送料無料

はなしことばの
育て方

支援と実践の
コツがよわかる！

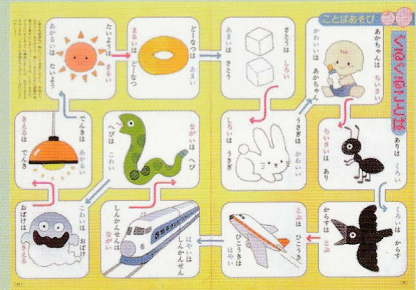
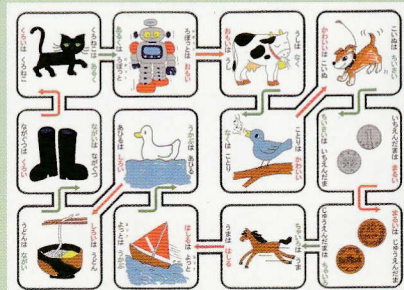
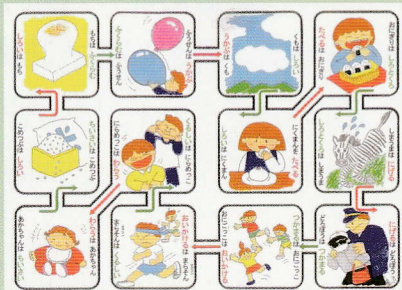


きらきら言音堂

検索

豊富な知識と経験が物語る待望の一冊！
ことばの療育は日々の積み重ね・・・
基礎をしっかり学んで、明日から
障害児・者のことばの療育に挑戦し続ける。

● 人気商品！つながりことば歌 (B4サイズ、厚紙使用) 料金：3,000円 (10種 全11枚)



長年の研究から生まれた楽しく言葉を増やす教材です。連想を生かした絵図を見ながら歌う事により、多くの言葉の体得を図っています。絵を見て歌うことによりことばの理解が進み、楽しく話せるようになります。家庭でも施設でも簡単にとり入れることができます。



「日常に生きることば音楽療法」

発育リズムコミュニケーション/
アロマクレイノ子育て支援
「ひだまり」

小笠原 清恵

ひだまりは、愛知県碧南市を拠点とした、親子を応援するための教室です。自身の子育て経験から子育て支援をしたいと思いたち、教室と支援活動を始めて、もうすぐ10年になります。

私自身、初めての子育ては本当に戸惑うことの多いものでしたが、ちょっとしたきっかけから音楽を使った親子遊びの楽しさを経験し、支援活動や教室を始めるに至りました。

そうして、数年活動をしていくうちに今まで知らなかった現状を知るようになったのですが、それが発達障害等やその可能性があるお子様とご家族の困られている現状でした。

特に私の接する年齢層は未就園児も多く、発達の不安や育てにくさはあるけど何をしてもわからない、専門機関への相談までには至らない、など、それが一般的な時期です。しかし、そのまま過ぎていき、入園を控えた3歳児健診などで初めて発達に関する指摘を受け、そこからひどく苦しまれる親御さんにお会いすることもありました。逆に、早い時期から情報を得られ、適切な支援や療法を受けられたお子様が著しく発達された姿にお会いすることもありました。

発達も個性も本当に人それぞれで、何が最適なのかは一概には言えないとは思いますが、たくさんの方にお会いする中で、ここ近年とても多く感じられるのがことばの発達への不安です。そこで感じたことが、ことば音楽療法を学ぶきっかけとなりました。

支援を提供する側が、適切な知識や学びを常に深め、また親子との信頼関係を築いた上で、早い時期から必要な働きかけをしていくことができたなら、親御さんの悩みも少し軽減するかもしれません。そして何より、発達に不安を抱えている子供たち本人の困ることが減り、生きやすい環境が整っていくのではないのでしょうか。

ことば音楽療法は、そういった子供たち自身の力を自然に引き出してくれる可能性を感じます。体の中からでてくるようなことばの抑揚やリズムは一度聞くと耳に残り、頭の中で繰り返し流れてきます。それだけでなく、数や計算、玩具、絵本など様々なアプローチをしていくところがとても面白く、それぞれのお子様の個性に合わせてプログラムを組み立てられます。それに加え、自宅でもCDやDVDを気軽に用いることもできるので、何より大切な日常での働きかけが可能なお子様のところも素敵なお子様のところだと思います。

皆それぞれが抱えておられる様々なご事情に寄り添いつつ、ことば音楽療法をご紹介します。生きていく力を少しでも蓄えていけるような支援を今後も心がけながら進みたいと思います。

「九州で広がりつつあることば音楽療法」

福岡（行橋）支部 石井純子

◆リトミック講師

◆ことば音楽療法士

（個人セッション『りずむの木』 / グループセッション『おとたまご』 主宰）



4年前の12月下旬。雪が舞う中、福岡から初めて名古屋の研究所を訪れました。

寒さがふと和らぐような堀田先生の温かい笑顔に迎えられ、4日間のスクーリングを終えました。“私がこのメソッドで言葉の出ない子どもたちのことばを出して見せる！”そんな決意を胸に福岡に戻ったことを覚えています。

その数ヶ月後、個人セッション『りずむの木』を開設しました。

開設後、2人目の入会となった4歳のS君。初めてのセッション日。部屋に入るなり、ものすごい勢いで走りまわり、椅子の上から跳び下り、棚の中の教具を全部引っ張り出し、床にばら撒きまき・・・そんな状況からのスタートでした。

自分が思い描いた楽しいセッションとは異なる状況にすごく戸惑いました。とにかくひたすら、「♪す、す、すわる、いすにすわる～」と歌い続けましたが、それでも、座ることも歌うこともマラカスを持つこともしないS君。

ところが、それから7回目ぐらいのセッションで、部屋に入るなり、なんと自ら「♪いすにすわる～」と歌って座ったのです。嬉しい半面、あんなに何もしようとしなかったS君がなぜ急に？と疑問に思い、お母さんに尋ねたところ、ご両親が毎日歌ってくれていたそうなんです。

そこからグングンと言葉が増えていったS君。

オウム返しだった言葉も、今では自分から「いちごはあか？」と私に語りかけてきたり、「♪だ～れのえんぴつ？」という問いに対して、「♪ぼ～くのえんぴつ」と返すこともできるようになりました。お家でも「♪スプーンでたべる～」と歌ってからご飯を食べているとか。“私がことばを出して見せる！”そう意気込んで始めたセッションでしたが、私だけの力ではここまでの成長はなかったはず。ご家族の協力があってこそです。

ことば音楽療法士としての役割――

それは、本人にだけでなく、そういう子どもに関わる一人でも多くの人にこのメソッドを知ってもらい、家庭、幼稚園、学校、施設・・・いろんな場で活用されるよう広めていくこと。それにはまだまだ未熟な私ですが、「歌えたら話せた！」という子どもが一人でも増えるよう、日々勉強を重ね、頑張っていきたいと思っています。

コラム9

穴戸 理恵

先日、ある市の芸術協会から妊婦さんばかりを対象にした「マタニティコンサート」を依頼された。不安の多い妊婦さんをリラックスさせることが目的の1つ。チェロを弾く友人にも手伝ってもらい、練習中。

『ピアノとチェロによるコンサートと胎教や子育てによい音楽の話～音楽療法・音楽教育へのアプローチ～』と題し、クラシックを中心としたピアノソロやチェロ曲を12曲、曲解説や音楽のもたらす作用、モーツァルト等の話、子どもと音楽について、また妊娠出産にリスクがあった私や友人の出産体験談（案ずるより産むが易し）、音楽教育現場での話などを交えて行う予定である。もちろん『ことば音楽療法』についてもふれる予定である。

胎教とよく言われるが、おなかの中の赤ちゃんには外の会話そのものは聞こえていないとのこと。母親の循環する血液、雑音に近い外界の音や、母の声が混じった音をきいているようである。母親が音楽などによりリラックスすると心臓の鼓動や呼吸が整えられ、それが赤ちゃんにとって良い影響を及ぼすのが胎教の良さの一つ。

心地良い波のような呼吸のテンポとともに、おだやかに愛情をもって語りかける母親のことばが重要と思われる。これは正に「ことばの抑揚」がどうかということになってくる。おなかの赤ちゃんは母親のことばの抑揚を感じているのではないだろうか。子守唄のようなテンポと抑揚が母子ともに心身を安定させるとと思われる。

それで1曲のみ子守唄の弾き歌いをプログラムに入れた。団伊玖磨氏の『こもりうた』。

こもりうたは子どもにとってどんな上手いソプラノ歌手がうたうより、おかあさんのうたが最上のもの（たとえどんな音痴でも）。愛のあることばの抑揚がその子を育てる。リラックスさせられるように練習に励まない！！



2016年セミナー情報



(ことば療法士のポイントセミナー)

「ことば音楽療法 基礎セミナー 東大阪」 1日

期 間：平成28年7月18日（月曜日・祭日）海の日

場 所：どれみだんけ2号店
（東大阪市西石切町1丁目4-17）

時 間：10：00～16：00

料 金：5,000円（税込） ☎：072-988-1125

・名古屋・福岡・大阪・徳島県・兵庫県（5か所）予定
*会員には随時案内書を送付致します。



認定校

- 1 名古屋市【発語音楽研究所】
療育責任者：堀田喜久男（発語音楽療法←検索）
- 2 東大阪市【どれみ だんけ】
療育責任者：深谷靖子（どれみだんけ facebook）

認定教室

- 1 埼玉県【加藤音楽教室】主宰者：加藤千子 HP：<http://syougaiji-ongakukato.jp/>
- 2 大阪府【さゆり音学院】主宰者：土田靖子 HP：<http://www.seepa.jp/u/hatugo-oosaka/>
- 3 愛知県【SiSiDo Music room】主宰者：穴戸理恵
HP：<http://www.seepa.jp/u/piano-hatuhgo/>
- 4 京都府舞鶴市【でんでんむしの会】 松浦光子
- 5 三重県【樋口音楽教室】 主宰者：樋口なおみ
- 6 福岡県行橋市【ことばの音楽教室】 主宰者：工藤知子
- 7 福岡県遠賀郡『りずむの木』 主宰者：石井純子
- 8 京都府舞鶴市『さがん発語音楽教室』 主宰者：目美香
- 9 大阪府枚方市『安宅ことば音楽療法教室』 主宰者：安宅千世子
- 10 東京都江戸川区ことば音楽療法『あ・い・う・え・お』 主宰者：嬉 利恵
- 11 愛知県碧南市『ひだまり』教室 主宰者：小笠原清恵
- 12 福井県行橋市長木『ことばの♪パッソ♪』教室 主宰者：松尾範子
- 13 兵庫県芦屋市『きじ猫 音楽工房』 主宰者：上野奈央
- 14 愛知県常滑市『長鎌音楽教室』主宰者：長鎌明美



「ひだまり」教室（愛知県碧南市）



「ことばの♪パッソ♪」教室
（福井県行橋市）

ことば音楽療法士 認定者 ▶ 97名（受講中も含め） H28年5月現在

ことば音楽療法の認定校・教室です。教室か事務局にお問い合わせください。
認定校・認定教室を全国にて募集しております。 TEL & FAX : 052 (505) 5255

一般社団法人 発達支援協会 事務局

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98 JHTA内 TEL & FAX : 052 (505) 5255

<http://nihon-kotoba.jimdo.com/>

Eメール : takada@aroma-nagoya.com